豊川市定例記者会見【平成２９年２月】

日時　平成２９年2月１５日（水）午前１０時
場所　豊川市役所　本３４会議室（本庁舎３階）

市長あいさつ

「平成２９年度当初予算案」がまとまりましたので、発表させていただきます。

昨年は、急激な円高により、景気への影響が大変懸念されたスタートでしたが、６月には、２９年４月から予定されていた消費増税の再延期が決まり、その後、経済再生に向けた国の大型補正予算など、最大限の取り組みがなされた結果、後半には景気も回復基調に戻りました。

しかしながら、国外では、イギリスのＥＵ離脱やアメリカでは米国第一主義を唱えるトランプ氏が新大統領に就任するなど世界的にも混迷の時代に入ってまいりました。

また、国内においても、少子高齢化の進行や人口減少社会の到来により、経済を支える環境は、今後一層悪化することが想定されています。

こうした中、昨年発表された最新の国勢調査では、東三河におきましては、本市を除く７市町村で人口が減少するなど、この地域にとりましては大変厳しい結果となりました。

本市におきましても少子高齢化を伴う人口減少を強く意識するとともに、地方創生施策を強化し、持続可能なまちづくりを進めるため、「第６次総合計画」並びに市民の皆様とのお約束である「政策ビジョン」の確実な実行に向けた予算編成を行いました。

昨年秋からの予算編成作業では、全国的に社会保障関係費が大きく増加するなか、自主財源の確保に努めつつ、諸課題に対し、積極的に対応することとし、私の施策の柱としております「福祉と文化、そしてスポーツの盛んなまちづくり」の着実な推進や政策ビジョンの目標である「子どもたちの笑顔があふれ安全安心で人にやさしいまち」の実現を目指したものといたしました。

それでは、一般会計の状況でございますが、まず、歳入におきまして、前年度との

比較で申し上げますと、根幹をなす市税では、法人市民税が減少したものの、個人市民税及び固定資産税が増加し、市税全体では、４億２，３００万円、１．５％の増としております。

その他、国県支出金は、資源化施設整備事業が完了したことなどから、１１億２千万円、 ８．８％の減、市債については、将来負担の軽減を図るため、できる限り抑制した結果、１６億６千万円、４５．０％の減となっております。

続きまして、歳出は、私の「政策ビジョン」で掲げました「４Ｓのまちづくり」に基づき、主要事業を申し上げます。

まず、「子育てするなら豊川市といわれるまち」の推進では、４つの児童クラブ室を増設し、受け入れ枠を拡大するほか、育児休業からの職場復帰を支援するため、保育所の入所予約制度を実施してまいります。また、　　小中学校の普通教室への空調整備は、２８年度補正予算に前倒ししておりますが、計画どおり中学校、小学校と順番に進めてまいります。

この他、文化事業では、市文化会館での日本舞踊や桜ヶ丘ミュージアムでの各種展示事業などを実施し、質の高い文化芸術に市民が触れる機会を増やしてまいります。

次に、「安全安心で活気あふれるまち」の推進では、防災の拠点施設となる防災センターの整備に向け、実施設計を行います。また、豊川海軍工廠跡地への平和公園（仮称）整備では、２９年度中の完成をめざし、交流施設や残存遺構の保存整備を進めるとともに、開園後に活躍されるボランティアガイドの養成を行ってまいります。

そして、「人にやさしく健康で自然と共生したまち」の推進では、新たにワンコインがん検診を実施するとともに、高齢者相談事業、介護予防事業を充実いたします。特に、高齢者の相談事業では、５つの出張所を増設し、すべての相談窓口に生活支援コーディネーターを配置するなど、これまで以上にきめ細かな対応が可能な体制を構築してまいります。

最後に、「わかりやすく、無駄のない行政」では、ファシリティマネジメントを進め、公共施設中長期保全計画に基づく施設の予防保全、施設再編のリーディング事業

となる小坂井地域交流会館（仮称）の基本設計、さらに八幡駅周辺地区の活用を検討するための調査などを実施してまいります。

その他にも、防災・防犯、都市基盤整備、スポーツ振興など市民要望の強い事業や無人航空機「ドローン」の導入など先進的な事業にも取り組み、予算の重点配分を行っております。

以上、予算案の重点部分を簡単にお話しいたしましたが、一般会計の　　予算総額としましては、５７８億円となり、前年度に比べ２６億８千万円、比率にして４．４％の減となっております。

資源化施設建設など大型事業があった前年度からは減少しておりますが、当初予算の規模としては、過去２番目に大きい２４年度と同額となり、　　「笑顔で・明るく・元気よく」をキャッチフレーズに、多くの市民ニーズに対応した予算となっております。

最後に、予算額の数字「５（ご）」、「７（なな）」、「８（はち）」にちなみまして、私の思いを語呂合わせで申し上げますと、

「５（ご）」はいつつで「いつまでも」、そして、「７（なな）」は「長く住みたい」、「８（はち）」は「や」で「やさしいまち」として、

『いつまでも、長く住みたい、やさしいまちづくり予算』であります。

これは、「第６次総合計画」において重点課題とした「定住・交流促進」への思いを反映し、名づけたものでございます。

私からは、これで終わりますが、予算案の詳細につきましては、担当から説明させますので、よろしくお願いいたします。

内　容

（1）平成２９年度豊川市予算（案）について（財政課）

（2）その他資料

・第６次豊川市総合計画実施計画（平成２９年度～平成３１年度）を策定しました（企画政策課）